

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	平成 29 年度 第 2 回 男女共同参画推進懇談会
開催日時	平成 30 年 3 月 28 日 午前 10 時から 11 時 45 分
場所	佐渡市役所 第 2 庁舎 第 7 会議室
議題	(1) 平成 29 年度男女共同参画事業の実施報告 (2) 男女共同参画実態調査 (市内事業所アンケート) の結果報告 (3) 第 2 次佐渡市男女共同参画計画の改訂 (4) 平成 30 年度男女共同参画事業計画 (予定)
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	有識者 6 名、公募参加者 1 名 事務局：企画課 課長 岩崎洋昭 政策推進係 係長 菊地寛士 政策推進係 主任 源氏諭史
会議資料	資料No. 1 平成 29 年度男女共同参画事業実施報告 資料No. 2 平成 29 年度佐渡市男女共同参画実態調査 (事業所アンケート) 資料No. 3 - 1 第 2 次佐渡市男女共同参画計画改訂 (案) 資料No. 3 - 2 第 2 次佐渡市男女共同参画計画改訂 (案) 新旧対照表 資料No. 4 平成 30 年度男女共同参画事業計画 (予定)
傍聴人の数	—
備考	

会議の概要 (発言の要旨)	
発言者	議題・発言・結果等
企画課長	あいさつ
政策推進係主任	(1) 平成 29 年度男女共同参画事業実施報告 資料No. 1 より説明。 平成 29 年度に実施した佐渡市男女共同参画事業について説明を

	行った。
A 氏	ワークショップは、難しい意識変革について、啓発できる素晴らしい内容で、できれば同じ講師で毎年開催してほしいほどだった。次も「気づき」が得られるものにしてほしい。
政策推進係主任	アンケートにおいても好評だった。次回も良いものにできるよう検討していきたい。
B 氏	事業所への実態調査は毎年やっているものか。今年が初めてか。
政策推進係主任	事業所に対する調査は初めて実施した。平成 26 年度には市民意識調査を実施している。
B 氏	回収率が低い。
政策推進係主任	分析、反省し次につなげたい。
政策推進係主任	(2) 男女共同参画実態調査（市内事業所アンケート）の結果報告資料No.2により説明
C 氏	回収期間が短い。事業所は忙しく、1ヶ月はほしい。提出を忘れた事業所もあったのではないか。催促することも必要。
政策推進係主任	回収期間は短かったと反省している。
D 氏	返信方法はどのようなものか。
政策推進係主任	返信用封筒を同封し、郵送にて返送いただくもの。
D 氏	メールや FAX での返信も可とすれば回収率が上がるのではないか。
C 氏	メールや FAX だと回答者がわかってしまうので敬遠されるのでは。
D 氏	回答方法を自由に選択してもらおうという提案である。

政策推進係主任	匿名性は重要な部分ではあるので、方法については今後も模索していきたい。
A氏	調査結果や見えてきた課題に今後どう取り組んでいく予定か。
政策推進係主任	分析を精査し、公開するほか、集計結果をセミナー等の啓発活動を実施する際に事前に講師や新潟県女性財団に資料と提示しないようを検討する際の資料に活用したい。
B氏	調査結果は事業所へ返すのか。
政策推進係主任	現時点では市のホームページでの公開のみとする予定である。約3,400の事業所に返すことは予算的に厳しい。部数は限られるが窓口を設置するなどしたい。
E氏	回答しなかった事業所でも結果やポイントを伝えることが意識改革になるのではないかと。また次のアンケートでは協力してくれるのではないかと。課題がありすぎてどこから取り掛かるか難しいところもある。今後に繋げていく、意識を変えていくことは一番苦労する。育児休業も昔は取得率が低かったが今は取得することが当たり前になっている。意識は変わってきている。
政策推進係主任	結果を確認いただく機会を設けられるよう工夫したい。
D氏	アンケートを再度実施する計画はあるか。この数値がどう改善していくか興味深い。
政策推進係主任	第3次佐渡市男女共同参画計画に指標として盛り込んでいくことを考えており、再度の事業所調査は第3次計画の目標年度に実施することになると思われる。
C氏	女性の育児、介護の問題が今は非常に大きい。これから高齢者が増えていく時代に若手の方は働かなくてはならない。今後の一番のテーマとして考えてほしい。今は女性の活躍が増え、働きやすくなってはきているものの、事業所の意識は低い。月単位の労働時間ではなく、一日の中で柔軟に働ける体制が必要。
F氏	各事業所が働きやすい体制をとれるように行政との話し合いなり、制度ができるといい。ただ事業所に「こうしてください」だけ

	<p>では難しい。職場の人たちとの兼ね合いもあるため、辞めざるを得ない人もいる。難しい問題であるが、改善には市の介入が必要。</p>
A氏	<p>お金をかけなくても他の自治体で色々な成功例がある。成功事例を周知するだけでも違ってくると思う。積極的な取り組みを紹介して欲しい。</p>
C氏	<p>営業職など職種によっては労働時間に融通をきかせてくれる会社もある。お互いに理解し認め合う信頼関係において体制づくりができるとうい。</p>
E氏	<p>与えられた時間の中で実績を出せば良いという制度もあるが、事務職はそういった仕組みを取り入れにくいのも事実。職種によってではなく、全体として働き方、時間を融通できる仕組みを取り入れていかないと問題が解決しない。一方で人材確保の問題もあり、難しい。</p>
B氏	<p>自分の仕事をどれだけシェアしてもらえるかが一番大事なこと。</p>
E氏	<p>一人仕事にならないように。人が少なくなっていく中で、フルタイムで働いてくれる方は給料を上げても見つからない。待機労働力が活躍できる場を職場に取り込む仕組みができないか考えていかなくてはならない。意識改革だけでは難しい。効率の良い事務システムに補助をするなどの制度があってもよいのではないかな。同じ成果を出せるなら仕組みの内容は事業として問題視しないのではないかな。</p>
D氏	<p>その意見に連動して、再雇用制度をもっと活用できたらよいと思う。育児、介護が終わった方の復帰や定年後の元気な方の能力を活用できたらよい。</p>
C氏	<p>子連れ出勤の取り組みなどをやったことがあり、会社が保育園化して大変だった。</p>
全員	<p>それは先進的取り組みだ。</p>
C氏	<p>社長ができることはしてあげたいという理解のある人だった。大変だったし、どこでもできることではないと思う。</p>

F氏	多くの事業所では理解がないと思う。
A氏	子育てと介護のダブルケアをしていることに対し、事業所は想像力がないのかと思ってしまう。
D氏	保育園の一時預かりなど制度や実態は。
G氏	一部の保育園で一時預かりの制度がある。土曜保育もできて、利用者も増えている。申請すれば勤務先の近くなどに預けられる。保育園の制度も認定制度に変わり、良くなってきている。
A氏	ひとり親が大変である。土日も働かなくてはならなかったり、働き先がなかったりする。
G氏	希望保育を設け、お盆、年度末までお子さんを預かれるようになった。保育園としてはお母さんが働きやすくなるような体制づくりに努めている。
C氏	昔は会社勤めの人と、自営業の人では預けられる時間に差があったが。
G氏	今はそういったことはない。認定制度になり改善されてきている。
D氏	病児保育については。
G氏	病児保育はないが、金井保育園で病後児保育はできた。4月から両津東保育園でも病後児保育ができる。
A氏	料金が高くて使いづらい。高い料金を払うのだったら仕事を休むという選択になってしまう。制度があっても使いづらくては意味がない。
G氏	課題になっている。
E氏	働く時間そのものを考え直していかなければならない。今はどこもサービス過剰で営業時間が長い。佐渡は長時間営業しても利用客は少ないと思う。佐渡で統一して早めに帰る、営業時間を見直す島

	<p>づくりをスローガンにして取り組めないものだろうか。過剰なサービスをなくし、お互いに融通し合うことで穏やかな島づくりを市が推進してはどうか。佐渡が都会のまねをしなくてよいと思う。民間レベルでは取り組みにくいので佐渡市が率先してやれないか。住みやすい島にしてほしい。</p>
C氏	<p>市職員が率先して早く帰る、残業しないことに取り組んでほしい。</p>
B氏	<p>NO残業デーがあるのではないか。</p>
企画課長	<p>現在はない。市全体でも超過勤務が問題となっている。上司が率先して帰ると部下も帰りやすくなると思っている。</p>
C氏	<p>仕事はいくらでもある。でもこの時間で帰るのだと組織の長が示さないといけない。</p>
企画課長	<p>管理職も環境づくりを率先してやるよう努力する。</p>
B氏	<p>Eさんの言うとおりの、「お互い様」というのをどう浸透させるか。</p>
E氏	<p>今日は私が頑張るから、明日はあなたが頑張るよ。という考え方は再雇用の話にもつながる。</p>
企画課長	<p>働き方改革ということで取り組んでいかねばならないと考えている。貴重なご意見を参考にさせていただく。</p>
政策推進係主任	<p>(3) 第2次佐渡市男女共同参画計画の改訂 資料No.3-1、3-2により改訂の趣旨、改訂部分を説明。 努力義務として設定されている女性活躍推進計画の策定については第2次佐渡市男女共同参画計画に一体的に盛り込み、改訂することで策定と位置付けることとしている。第2次計画の基本目標Ⅲに掲げる目標や施策の方向を女性活躍推進のための計画として事業を行っていくこととする。</p>
E氏	<p>追加した指標についての目標は「増加」ではなく、100%を目指してはどうか。 (他に意見なく改訂について承認)</p>

<p>政策推進係主任</p>	<p>(4) 平成 30 年度男女共同参画事業計画 (予定) 資料No.4 により説明。現時点の予定ということで追加・変更があることを了承いただいた。</p>
<p>D 氏</p>	<p>クラウドソーシング講習を受けてスキルを身につけたとして、その技術を活かす会社はあるか。</p>
<p>政策推進係主任</p>	<p>紹介で終わってしまわないよう、担当課・係と打ち合わせをする中で、事業を進めていく。</p>
<p>C 氏</p>	<p>啓発セミナーの予算は。講師のレベルによっては何十万という人もいる。</p>
<p>政策推進係主任</p>	<p>講師謝礼としてわずかな予算しかない。ただこれまでと同様、新潟県女性財団と共催することで支援を得つつ、各課連携のもと予算を出し合って工面していく。</p>
<p>C 氏</p>	<p>講師の一覧表のようなものがあるか。あれば紹介してほしい。高くても手がでないこともある一方で、もっと勉強したいという人がいる。</p>
<p>政策推進係主任</p>	<p>講演料が高い講師の一覧はないが、ほぼ無料で派遣してくれる機関があるので紹介する。無料の講師もいる。今年度行われた雇用労務研修会もその機関から紹介させていただいた講師である。</p>
<p>E 氏</p>	<p>よい講師だった。日程調整が難しいかもしれないので早めに連絡するとよい。いろいろなメニューがある。</p>
<p>政策推進係主任</p>	<p>資料が新年度版として更新されて送られてくると思うので資料をお見せしたい。是非ご相談いただきたい。</p>